

DVD-ROM ドライブ取扱説明書

C79674000

このたびはDVD-ROMドライブ（以降、本ドライブ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書には、本ドライブの適応メディアやジャンパスイッチの設定などについて記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

また、本ドライブの使用上の注意や基本的な使い方は、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』の次の箇所に記載しています。あわせてお読みください。

- 使用上の注意について：
「安全にお使いいただくために」、および「製品保護上の注意」
- 基本的な使い方について：
「コンピュータの基本操作」－「CD/DVD ドライブ（5.25 型ドライブ）を使う」

▶ 適応メディア

本ドライブで読み込み可能なメディアの種類と読み込み速度は、次のとおりです。

本ドライブでは、CD/DVD メディアへの書き込みはできません。

メディアの種類		読み込み速度（最大）
CD メディア	CD-ROM	48 倍速
	CD-R	48 倍速
	CD-RW	24 倍速
DVD メディア	DVD-ROM	16 倍速
	DVD-R	8 倍速
	DVD-RW	8 倍速
	DVD+R	8 倍速
	DVD+R DL	4 倍速
	DVD+RW	8 倍速



制限

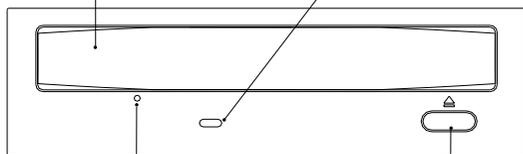
- 本ドライブの適応メディアであっても、ソフトウェアが対応していない場合は、読み込みができません。詳しくはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクについては、動作保証していません。本ドライブにて動作しない特殊ディスクについては、特殊メディアの製造元または販売元にお問い合わせください。

▶各部の名称と働き

本ドライブの各部の名称と働きは、次のとおりです。

< 前面パネル >

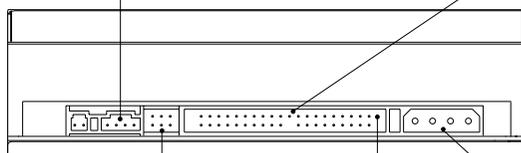
- ディスクトレイ
メディアをセットします。
- アクセスランプ
ドライブへのアクセス時、緑色に点滅します。



- イジェクトホール
ディスクトレイが開かなくなっ
てしまったときに使用します。
通常は使用しないでください。
- イジェクトボタン
コンピュータの電源が入っているときに
押すと、ディスクトレイが開きます。

< 背面パネル >

- CD オーディオコネクタ
CD オーディオケーブルがある場合は、
CD オーディオケーブルを接続します。
- インタフェースコネクタ
IDE (Ultra ATA) ケーブル
を接続します。
- 電源コネクタ
コンピュータ内部の周辺機器用
電源ケーブルを接続します。



1 番ピン側

- ジャンパスイッチ
本ドライブの優先順位 (マスタ、
スレーブ、ケーブルセレクト) を
設定します。

▶接続時の設定（ジャンプスイッチ）

この設定は、本ドライブをお使いのコンピュータへ増設する場合に必要です。

コンピュータによってはドライブの増設・交換ができません。増設・交換の可否や装着方法の詳細は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「システムの拡張」でご確認ください。

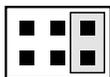
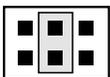
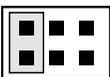
本ドライブは、IDE（Ultra ATA）ケーブルで接続します。IDE 装置を複数使用する場合、接続するすべての IDE 装置で、優先順位（マスタやスレイベ、ケーブルセレクト）を設定する必要があります。詳細は、『ユーザーズマニュアル』－「IDE 装置の装着」－「Ultra ATA コネクタ」を参照してください。

ジャンプスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1 同じ IDE (Ultra ATA) ケーブルに接続する他の IDE 装置に対しする、本ドライブの優先順位を決定します。

2 決定した本ドライブの優先順位を、ジャンプスイッチで設定します。

 p.2 「背面パネル」

マスタ	スレイベ	ケーブルセレクト
		



2 基の CD/DVD ドライブを装着する場合

コンピュータに CD/DVD ドライブを 2 基装着する場合は、優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイベ
CD-ROM ドライブ	本ドライブ



♻️ 100

古紙配合率100%再生紙を
使用しています

L/SH-16P9S
05.08.29 (ED)